

設立趣旨・目的 設立日 2012（平成24）年4月2日

里山は人の営みによりつくりだされ、自然との共生のなかで豊かな生活文化を享受できる地域です。金沢においても、卯辰山、夕日寺、角間、医王山、湯涌と里山エリアが続いています。

しかし、生活様式の変化や、農林業の衰退、担い手の減少などにより、里山の荒廃が進み、金沢の里山の中心に位置する角間もその例外ではありません。

一方、たとえばバイオマスなど、新しい視点でながめれば里山には未利用資源が多くあり、これらを活用することで、新しい事業の展開も期待できます。

また、里山のもつ多様な資源は、若者や子どもの教育の場、障がい者の自立支援の場、多様な世代の健康増進の場として活用できる、多くの潜在能力を備えています。

このため当法人は、企業、NPO、大学、行政、地域住民等の地域の多様な主体が連携して取り組む里山の保全・活用事業や人材育成事業をとおして、未来につながる新しい里山活用モデルの創出を図り、持続可能な地域社会の形成に寄与することを目指し、特定非営利活動法人として設立しました。

取り組みにおいては、とくに里山整備におけるCSR（企業の社会的責任）に基づく活動の導入など、新しいしくみを積極的に組み込むことで、全国でも先進的な「地域の多様な主体が連携したパートナーシップ型の里山活用モデル」の創出を目指します。

さらに、これらの取り組みは金沢に留まることなく、能登の里山・里海を軸とする地域再生の取り組みと連携させることで、持続可能な地域発展モデルの構築への展開を期すものです。

すなわち、産業革命以来の大量生産・消費の社会・経済構造からのパラダイムシフトを迫られている今日、里山をいかに活用し人類に役立てるのか、本会の活動を通じて見据えようというものです。

特定非営利活動に係る事業

当法人は、設立趣旨・目的に則り、次の事業を行います。

- ①地域連携による里山の保全・活用事業
- ②里山の保全・活用をとおした教育・人材育成事業
- ③里山資源を活かすための調査研究事業
- ④里山資源の保全・活用に関する普及啓発、情報発信事業



受賞・認証

- ・いしかわ版里山づくり ISO 認証番号 199
- ・2015年いしかわ森林環境功労賞受賞

役員紹介 2023（令和5）年7月1日現在

代表理事・理事長	三橋 俊一
代表理事・副理事長	北 實
専務理事・事務局長	河崎 仁志
理事	飴谷 義博
理事	上田 幸男
理事	雄谷 良成
理事	門村 和永
理事	古賀 美純
理事	下田 武夫
理事	神 亮一
理事	関戸 正彦
理事	寺田 進
理事	榎 典雅
理事	砺波 和年
理事	山崎 浩一
監事	西村 昭孝
監事	仙石 正美
事務局次長	杉森 敏志

